

みどりのはっぱ



【発行者・所在地】(社)
 グリーンポスト事務局
 大阪市中央区赤右衛門
 町5-25-302
 ☎06-6212-3100

一陽来復

皆様にとって希望溢れる一年となり
 なりますようお祈り申し上げます。



当会も発足十二年目を迎えました。
 活動も昨年十一月にスメット小学校が完成し、
 早速、子供たちの笑顔が届きました。
 学校建設に関して、当会の主旨に賛同してくだ
 さった皆さまのご理解とご支援に改めて感謝申し
 上げます。

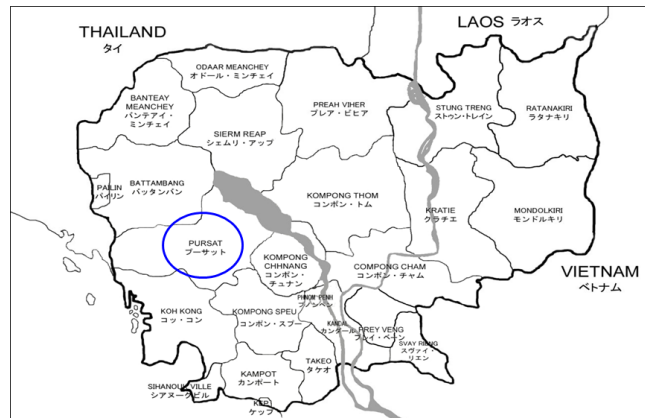
また、共同で学校建設事業の推進に取り組んで
 くださっているシャンティ国際ボランティア協
 会、建設連合大阪府連合会を始めとする各種団体
 様のご協力をいただきました。
 現地地域の方々には厳しい環境下でのご厚意に
 改めて感謝申し上げます。

近年コロナ禍の影響を受けておりますが、今年
 も当会に相応しい活動を企画・推進してまいり
 タいと存じます。
 今後も皆さまの温かい活動支援をよろしくお願
 い申し上げます。

末筆になりますが、皆さまのご健康とご活躍を
 心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせ
 ていただきます。

社団法人グリーンポスト事務局

◎スメット小学校(ポーサット州ヴィール・ヴェン郡ク
 ラブー・ピー集合村スメット村)が、2022年十二月
 十一日に竣工しました。
 学齢児童は八十二人で教員は3人です。



建設期間中に様々な問題が発生し、
 工期は五十一日間延長されました。

スメット村は、道路は狭くて古く舗装もされて
 おらず、バイクや牛が引く台車しか通ることができ
 ません。村へのアクセスは非常に悪い状態です。

5月からの大雨で、村へのアクセスは非常に困
 難で、道路はぬかるんだ泥道となり、いくつかの木
 造の橋は洪水で流され破損しました。

建設業者は、軽トラックやバイクを使って建設
 資材を建設地まで運び込むなどして、小学校の建設
 は2022年十月二十一日に完了しました。

◎対象校における学習の状況

スメット小学校は、郡教育局から、新しい教室
 で使用する児童用の机と椅子四十セットの追加
 支援を受けました。

児童は、十月三十一日(月)に新しい教室に移
 動し、教員は毎朝、きれいな状態を維持したり、
 トイレを使用したりするよう児童たちに伝えて
 います。

新しい校舎や教育設備は、児童にとっても教員
 にとっても初めての経験です。

児童たちは、新しい校舎で勉強することに笑顔
 で胸を躍らせていました。

2021〜2022学年度は2022年十一
 月末日に終了し、次学年度は2023年一月一日
 に新学期が始まります。

教員は、午前中に3クラス(1年生、2年生、
 3年生)、午後に3クラス(4年生、5年生、6
 年生)を担当する予定です。

教員と学校支援委員会は、長年困難に直面して
 きたこの僻地の小学校に、新しい校舎と教育設備
 を支援してくださった皆様に感謝しています。
 (シャンティ国際ボランティア会からのスメッ
 ト小学校建設活動竣工報告書による)



私は9歳で、3年生です。1年生から今までこの学校で勉強してきました。将来は先生になりたいです。月曜日から土曜日まで毎日、お兄ちゃんと妹と一緒に学校にきています。家は学校から3.5kmほど離れています。お父さんが、私とお兄ちゃんと妹をバイクで学校まで送ってくれます。



リヤ・サさん

新しい教室で、新しい机で勉強するのがとても楽しいです。先生も、良い机と椅子を使っています。学校を支えてくれる皆さん、ありがとうございます。立派な人になるために、一生懸命勉強します。

私は13歳で、4年生です。2年生の弟が一人います。家は、学校から2kmほど離れています。家族は、おばあちゃん、お父さん、お母さん、私、弟の5人です。家族は農園やプランテーションで毎日働いたため、いつも村を離れています。私と弟は、時間があるときに学校に行くことができます。



スルン・チャナさん

勉強したいし、学校がとても好きです。友達と自由に遊ぶのが楽しいです。農場で働くのはとても大変です。今のところ、将来の夢はありません。私も友達も新しい教室で勉強できて、とても喜んでいきます。支援してくれてありがとうございます。

★シーカー・アジア財団より奨学金のお礼状

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素よりシーカー・アジア財団の活動にご賛同くださり、心より御礼申し上げます。

本事業は、これまでと同様、バンコク・都市スラムで暮らす子どもたち、ターク県やパヤオ県で暮らす農山村の子どもたち、少数民族（カレン族、モン族、アカ族等）の子どもたちといった、社会的・経済的に困難な状況にある子どもたちに対し、就学の機会への支援を行ってまいります。

昨年度も新型コロナウイルス感染症長期化のため、ロックダウンもあり、景気が低迷し店の売り上げが下がり、それにより労働収入が減り、日常生活すら困難な状況になり、貧困な家庭がさらに酷くなっているところもあります。

さらに学校も閉鎖され、教育を受ける環境もオンライン主体になり、機材にかかる費用や、山奥では電波も届かない等以前にはなかったような問題も増えております。

今年度に入り回復基調にありますが、元通りになるにはまだかなりの時間を要すと思われまします。

日本も同様に苦しい状況だと存じております。

このような大変な状況下ではありますが、本年度も引き続き御支援いただければ幸いです。

2022年度も引き続き奨学金を中高生たちへ支援いたします。

私も、奨学生たちに勉学を続けられるように勤めてまいりますので、今後とも子どもたちが持つ夢や、明るい未来のためにご支援を心よりお願い申し上げます。末筆ではございますが、ご支援者様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

シーカー・アジア財団 事務局長

ナリラット・タンジャランバムルンスック

上記以外にも関連団体などからニューステラーが届いております。事務所にストックしてありますので、お時間のある会員様は一度ご覧いただければと思います。お待ちしております。

会費納入のお知らせ！

平素から(社)グリーンポストの活動に對しまして、ご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。(社)グリーンポストは、皆さまの善意を年2回収納させていただいております。(六月と十二月)

今期の会費納入もありがとうございます。(毎年度税理士による収支決算報告実施)

また、募金箱の回収にもご協力をいただき、ありがとうございます。(新調募金箱は左側写真)

皆さまからの大切な寄付金として、アジアの子どもたちへの支援活動に活用させていただきます。

これからもご理解ご協力をよろしくお願い致します。

【編集後記】

新年あけましておめでとございます。

昨年はリモートワークが増え、対面による活動等が難しく、意見交換もままならぬ淋しい一年でした。

ニュースは気候変動にエネルギー問題から物価高。そして侵略戦争が続き……。

年末には、記録的な大雪で日本列島が大荒れ。雪といえ、偉人の言葉を思い出す。

「欲深き人の心と降る雪は積もるにつれて道を失う」

今年は一跳ね二跳ねと道を踏み外さず平穩無事な世が訪れますように。



(仁)

